

## 第104回 ほほえみ 開催

11月15日（水）第104回 ほほえみを開催しました。

2名の方が新しく参加していただきました。

お話を伺うと、ほほえみの存在は知っていたが、がんという自分を受け入れられない思いもあり、なかなか足が向かなかったとのこと。参加されるのに、大変な勇気がいったことと思います。気持ちが整理できないまま無理矢理にでも参加して欲しいとはなりません、行ってみたいと思われた時に、すぐに迎え入れられるそんな場所でありたいと思います。

参加者はいつでもみなさんの参加をお待ちしております。

次回のほほえみは、12/20（水）14時から16時まで  
本館3階 **特別会議室**での開催となります



【がんサロン事務局】

### 『“がん”である自分を受け入れる』

（がん体験記）

「がんです」——。

そう告知された瞬間、きっと誰もが頭の中で整理がつかなくったと思います。

「私はどうなってしまうのだろう」

「私、死んじゃうの？」

と、様々な思いが頭を過ります。

「仕事は？」

「家族のことは？」

「なんで私が・・・？」

と、頭が真っ白になったという人もいるのかもしれない。

“がん”という病気と闘っていくには・・・つきあっていくには、がんを“受け入れる”ことが大切（必要）なのでしょう。がんになってしまった以上、“がんになった自分も自分”と・・・でも、そう簡単にはいかないのが現実です。

私は乳がんになって、手術、放射線治療、5年間のホルモン療法と治療を進めてきました。でも、その中のどこに於いても、戸惑いや迷いが生じました。それはもしかしたら、私自身、“がん”という病を受け入れられていなかったからかもしれません。

がん告知から11年を迎えようとしている今、「がんを受け入れたのか」と聞かれれば、その答えは私自身もわかりません。

『受け入れざるを得ない』——。

それが正直な思いなのかもしれません。

（北海道／女性／乳がん／がん患者本人）